

## 第10回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会

日時：令和7年5月14日（水）

18時～19時30分

会場：長野県庁西庁舎111号会議室

### 次第

#### 1 開 会

#### 2 挨拶

#### 3 会議事項

- (1) 第9回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会まとめ
- (2) 全国高等学校体育連盟への県からの意見・要望について
- (3) 再編実施基本計画に係る課題について
  - ① 再編に係る概要及び経過の確認
  - ② 設置課程について
    - ・先進県視察に係る報告
    - ・校長会定時制・通信制部会より
- (4) 質疑応答および意見交換

#### 4 その他

#### 5 閉 会

## 新校再編実施計画懇話会開催要綱

### (目的)

第1 県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」(以下、「懇話会」という。)を開催する。

なお、懇話会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条例により設置された附属機関ではないものとする。

### (会議事項)

第2 懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

- (1) 学校像、教育方針等に関する事
- (2) 校地・施設・設備等に関する事
- (3) 管理運営等に関する事
- (4) 教育内容等に関する事
- (5) その他、県教育委員会が必要と認める事項に関する事

### (構成員)

第3 懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者(校長、教職員等)、地域の代表(自治体関係者、産業界の代表等)、同窓会、PTA、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

### (開催期間)

第4 会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

### 附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。

長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

※◎座長 ○新構成員

	区分	氏名	所属等	役職等
				(敬称略)
1	自治体	西澤 雅樹	長野市	副市長
2		丸山 陽一	長野市教育委員会	教育長
3	産業界	塚田 まゆり	長野商工会議所	副会頭
4	学識経験者	◎茅野 理恵	信州大学学術研究院教育学系心理支援教育グループ	准教授
5		小林 勝彦	長野県専修学校各種学校連合会	理事長
6	地域	坪井 俊文	長野地域振興局	局長
7		堀江 三定	長野市スポーツ協会	理事長
8		伊藤 羊子	一般財団法人長野県文化振興事業団 芸術文化推進室	室長
9		戸井田 由奈	特定非営利活動法人長野県NPOセンター	コーディネーター
10	同窓会 振興会	西澤 敏	長野東高等学校同窓会	会長
11		和田 安雄	長野吉田高等学校戸隠分校同窓会	会長
12		鷲澤 幸一	長野高等学校定時制振興会	会長
13		塚田 篤雄	長野商業高等学校定時制振興会	会長
14		岡 正子	長野西高等学校通信制振興会	会長
15	PTA	片野 良之	長野東高等学校PTA	会長
16		○石坂 晶子	長野市PTA連合会(小学校)	副会長
17		○若麻績英亮	長野市PTA連合会(中学校)	副会長
18	小中学校等 関係者	○宮本由希子	長野市小学校長会(長水地区小学校長会)	会長
19		○小林 克浩	長野市中学校長会(長水地区中学校長会)	会長
20		○丸山勝深巳	長野養護学校	校長
21		中島 秀明	県立高等学校長会定通部会長(松本筑摩高等学校校長)	会長
22	再編対象校	林 皓多	長野東高等学校	生徒会長
23		宮尾 悟良		校長
24		柳澤 秀樹		教諭
25		徳武 誠也	長野吉田高等学校戸隠分校	生徒会長
26		田中くるみ		副会長
27		内藤 信一		校長
28		丸山 淳一		教諭
29		阿部翔之助	長野高等学校定時制	生徒代表
30		廣田 昌彦		校長
31		山本 俊介		教諭
32		田辺 葵	長野商業高等学校定時制	生徒会長
33		田中百合菜		生徒会副会長
34		○加藤 泰久		校長
35		寺嶋 龍也		教諭
36		亀山虎太郎	長野西高等学校通信制	生徒代表
37		○三輪 元子		校長
38	古澤 広人	教諭		

【事務局】				○新事務局員
学校名		氏名(役職等)		
長野東高校		(教頭)○山本 丈治 (教諭)柳澤 秀樹 栗原 聡 染谷 翔太		
長野吉田高等学校戸隠分校		(教頭)宮下 由夫 (教諭)丸山 淳一		
長野高等学校 定時制		(教頭)小出 一也 (教諭)山本 俊介		
長野商業高等学校 定時制		(教頭)島崎 剛 (教諭)寺嶋 龍也		
長野西高等学校 通信制		(教頭)宮坂 洋子 (教諭)傳田 伊史 (教諭)古澤 広人		
		氏名	所属等	役職等
県教育委員会 事務局	○柳沢 勝美	高校教育課 高校再編推進室	主幹指導主事	
	○細萱 裕樹	高校教育課 高校再編推進室	主任指導主事	
	○土橋 邦彦	高校教育課 高校再編推進室	主任指導主事	
	○米澤 和真	高校教育課 高校再編推進室	主事	
	○小木曾一希	学びの改革支援課 高校教育指導係	指導主事	

## 第9回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

<b>日時</b>	令和7年1月21日(火) 18時～19時30分		
<b>場所</b>	長野県庁西庁舎 111号会議室		
<b>出席 (敬称略)</b>	西澤雅樹、丸山陽一、塚田まゆり、茅野理恵、小林勝彦、坪井俊文、伊藤羊子、戸井田由奈、西澤敏、和田安雄、岡正子、江口康人、中島秀明、林皓太、宮尾悟良、柳澤秀樹、徳武誠也、田中くるみ、内藤信一、丸山淳一、阿部翔之助、廣田昌彦、山本俊介、田辺葵、田中百合菜、有賀浩、寺嶋龍也、小金典子、古澤広人(以上29名)		
<b>欠席 (敬称略)</b>	堀江三定、鷺澤幸一、塚田篤雄、片野良之、小林優、小池勲、佐藤裕美、 藤澤里美、亀山虎太郎(以上9名)	傍聴	2名
<b>事務局</b>	長野東高校	峯村教頭(事務局長)、柳澤教諭、安尾教諭、栗原教諭、横打教諭	
	長野吉田高校戸隠分校	宮下教頭(副事務局長)、丸山教諭	
	長野高校定時制	小出教頭、山本教諭、北島教諭	
	長野商業高校定時制	島崎教頭、寺嶋教諭	
	長野西高校通信制	宮坂教頭、傳田教諭、古澤教諭	
<b>当日資料</b>	次第、構成員名簿、第8回懇話会まとめ、再編実施基本計画(案)検討資料、学びのイメージ(案)補足資料		

### 会議事項

- (1) 第8回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会まとめ
- (2) 長野東スーパーフレックス新校再編実施基本計画(案)について
  - ・学びのイメージ(修正案)について
  - ・設置課程等
- (3) 意見交換

### 主な意見及び発言等(要旨) → 県教委 ◎座長のまとめ

会議事項について

- (1) 第8回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会まとめ  
事務局(県教委)から説明、質問、意見なし。

- (2) 長野東スーパーフレックス新校再編実施基本計画(案)について  
ア 学びのイメージ(修正案)について

**【質疑】**

- ・ポンチ絵の図のなかに、赤い線で囲んだ部分があるが意図は何か。  
→黄色の背景で記載した「柔軟な学びの仕組みを活かした多彩な単位認定」を赤い線で囲んだ部分に示した取組で実現したいという意図である。

◎前回の懇話会でご意見があった「ウェルビーイング」については、イメージ案の土台となるものであり、あえて、学びのイメージのどこかにこの言葉を用いることはしない。

イ 設置課程に関する資料説明について

**【質疑】**

- ・長野県の多部制単位制高校において、三修制を行っている学校が他県に比べて多い傾向があると説明があったが、その背景として考えられることは何か。  
→全日制から多部制単位制へ転換したが、全日制的形がそのまま残り、3年で卒業を希望するニーズが高いことが背景として考えられる。
- ・説明があった宮城県で開校予定の「多様なニーズに対応した新たなタイプの高校」については、全日制であっても三修でなくてもよいという意味が込められているのか。  
→全日制なのであくまでも三修制である。3年間、3から6時間目のみの登校では、卒業単位の74単位には足りないので、3年間のなかで1・2時間目や7・8時間目に登校して授業を受け単位を取る、通信制で単位を取る、ボランティア活動等を単位にするなどして74単位以上修得し、3年間で卒業することを想定している学校とのことである。
- ・全日制高校は他にもたくさんあり少子化も進んでいる。この状況の中で、新校に全日制を置くことによりどのようなメリットが考えられるのか。  
→視察した愛知県立御津あおば高校学校長の言葉ではあるが、3課程を置くことによって多様なニーズに応えることができる可能性が広がるといえるのではないかと。

ウ 設置課程に関する意見

- ・3課程の併置がよいのではないかと。長野東高校には全国的に有名になった女子駅伝部がある。新校になってもその活動が継続できることは大事である。

- ・全日制を設置して説明のあったコアタイムのように行うかどうかは別として、宮城県が想定している「新たなタイプの高校」の例に定時制を加えてもよいのではないか。
- ・3課程の併置がよいと思う。そのなかで、定時制の良さを活かすことは必要である。少人数での学級、様々な過ごし方や学び方ができる全日制併置とするのがよいと思う。
- ・宮城県の「定時制と通信制の機能を併せ持つこれまでにない全日制高校」の例のように、自由に授業を取ることができるという観点であれば、いろいろ工夫すればよいし既存の制度のなかでもいろいろ考える必要がある。
- ・考え方として単位制というのは、そもそも融通性を利かせられるものである。全日制を置いても単位制であるならば、融通性を利かせることができる。
- ・3課程を置くことが多様性に応える可能性があるという回答された。これは、まさに今、作り上げようとしている長野東スーパーフレックス新校の方針に沿うものだと思う。
- ・全日制では、いろんな人と交流することで豊かな人間関係が築けるので入れたほうがよいと思う。
- ・他にも全日制の学校はあるのだから、多部制や通信制と併置される全日制にはどんなメリットがあるか、よく考えなければならない。
- ・少子化が進んでいく中で、全日制はいくつもある。そのなかで全日制を置くとすれば、何学級になるのかなど具体的なことを考えて検討していくことが非常に大事である。

#### 【座長まとめ】

◎多部制単位制と通信制の併置がよいか3課程併置がよいかを議論したが、構成員それぞれがイメージする全日制に違いがあるなかでの議論になっている。また、子どもたちにとってどのような通いやすい学校になるのがよいか、想像している子どもたちの姿も違うイメージの中での議論になっている。次回懇話会でも継続して意見交換できるよう事務局に持ち帰って検討してほしい。

#### その他

##### 【次回】

日時：令和7年5月14日(水)18時から19時30分

会場：長野県庁西庁舎111号会議室

内容：長野東スーパーフレックス新校再編実施基本計画について

(3)再編に係る概要及び経過の確認

①概要及び経過の確認

～スーパーフレックス新校の定義、導入の経緯、ねらい、地域の声～

○地域の「協議会」からの意見・要望

【名称】旧第3通学区高校の将来像を考える地域の協議会(委員20名) 【座長】永松 裕希 氏(信州大学教育学部教授)

- ・多様な生徒の要望に応える学びの場として北信地域には未設置である午前部・午後部・夜間部を備えた多部制・単位制高校の設置を要望 (R3.4.13)

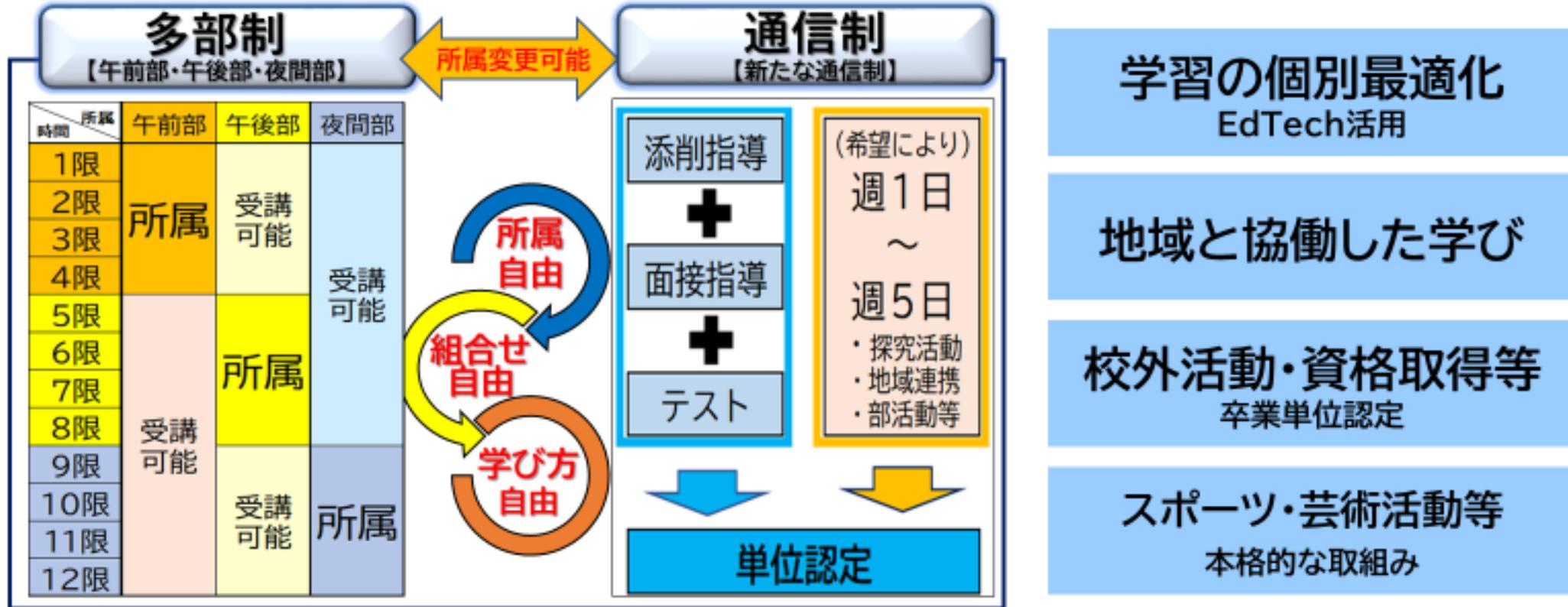
○再編・整備【三次】 (R5.1)

長野東高校 (全日制)  
長野吉田高校戸隠分校 (昼間定時制)  
長野高校 (夜間定時制)  
長野商業高校 (夜間定時制)  
長野西高校 (通信制)



長野東スーパーフレックス新校 (仮称)

# 長野東スーパーフレックス新校（仮称）の学校像として考えられる姿



多様な生活・学習スタイル

に応じて、フレキシブル(柔軟)に『学びをマネジメント』

(3)再編に係る概要及び経過の確認

②設置課程について

- ・先進県視察に係る報告

## ～設置課程の検討に向けての視察報告～

- 1 訪問先 宮城県教育庁 高校教育課教育改革班
- 2 期日 令和7年2月28日（金）13：30～15：30
- 3 内容 令和9年4月開校予定の新しいタイプの学校「idealスクール」について  
宮城広瀬高校（全日制課程・学年制1学年6学級） ➡ 全日制・単位制・1学年5学級

- ・生徒急増期に設置された学校
- ・駅から近い徒歩6分という立地



- ・パイロット校としてこのスタイルを全県に  
広げていく可能性あり

# ○新たなタイプの学校（idealスクール） 教育基本構想（案）の概要

## 1 設置の背景と基本理念

- 生徒の興味・関心、進路希望の多様化
- 様々な背景を抱えた生徒の増加（学校生活や学習に困難を抱える生徒など）

### ○新たなタイプの学校の基本理念

個に応じた多様な学びと、学習者中心の支援により、生徒の自律的な学びの実現と、将来の社会的自立に必要な資質・能力の育成を目指す。

## 2 新たなタイプの学校の概要

- 設置場所等 宮城広瀬高等学校を新たなタイプの学校に転換し、令和9年度に開校(予定)  
※宮城広瀬高等学校は令和9年度に募集を停止し、令和10年度末で閉校
- 募集定員 200名
- 設置課程等 全日制・普通科・単位制

## 3 求める生徒像

○次のような、多様な生徒を求めます

大学進学等の進路希望を実現するため、自分のペースで学びたい

集団生活や対人関係に不安を感じているが、自分の適性に合わせて学びたい

興味関心や適性に合わせ自己決定しながら柔軟に学びたい

学習のつまずきの解消のため、基礎基本に戻って学びたい

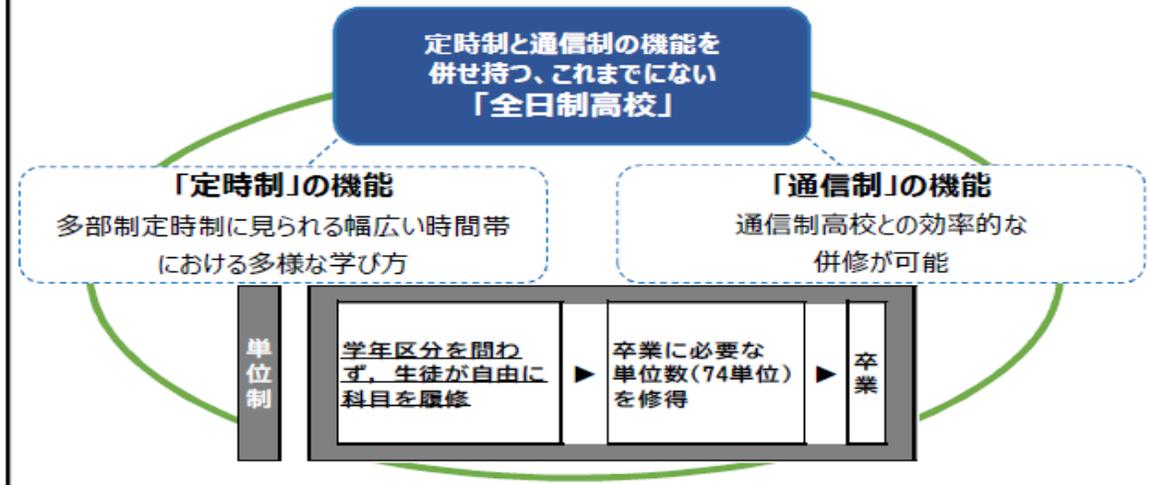
音楽活動やスポーツ等のため自由な時間を持ちながら学びたい

不登校を経験したが、自分の状況に合わせて学びたい



idealとは「理想、理想的」という意味の英単語ですが、ここでは、各単語の頭文字を合わせた造語としての意味を重ねています。さらには、目指す教育の実現のために、多くのアイデア（idea）、工夫を追求していくという思いが込められています。

## 4 学校の位置付け



## 5 学校の特徴

### I フレキシブルな学び方

- (1) 単位制の導入
- (2) 幅広い授業時間帯の設定
- (3) 通信制高校との併修
- (4) 資格取得、ボランティア等を単位として認定

### II 魅力ある学び

- (1) 探究的な学び
- (2) ICTを活用した学び
- (3) 地域等と連携した学び
- (4) 多様な人材を活用した学び

idealスクール

### III 多様な教科・科目

- (1) 多様な進路希望に応じた教科・科目
- (2) 学び直しのための教科・科目
- (3) 習熟度別授業の導入

### IV サポート体制の充実

- (1) チューター制の導入
- (2) 多様なスタッフ（スクールカウンセラー・ソーシャルワーカー、地域人材・NPO等）による支援

## 6 幅広い授業時間帯

- 1～8校時の幅広い授業時間帯を設定し、生徒自身の生活スタイル、興味・関心等に応じて、主体的な授業選択が可能

1校時	2校時	3校時	4校時	休み	5校時	6校時	7校時	8校時
主に選択教科・科目	コアタイム(主に必修教科・科目も設置) LHR及び総合的な探究の時間等も含む				主に選択教科・科目			

	1	2	3	4	5	6	7	8
多様な教科・科目			必修修科目					多様な教科・科目
月	選	必	必	必	必	必		
火	選	選	必	必	必	必		
水			必	必	必	必	選	
木			必	必	必	必	選	
金		選	必	必	必	必		
	コアタイム							

## 7 多様な教科・科目

- 多様な科目の設置に加え、資格取得やボランティア、他の高校での科目履修などの学校外学修等を幅広く単位として認定
- 将来の社会的自立に必要な資質・能力の育成に繋がる学びや多様な人材を活用した学びなど、魅力ある学びを実施

### 設置する科目の視点

- 国公立大学受験に対応した学び
- 教養を深める学び
- 多様な興味・関心に応じた学び

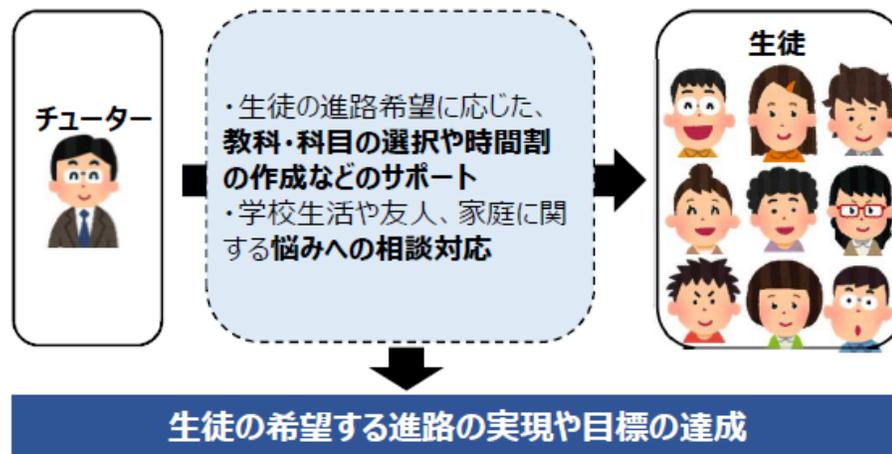
学び直しにも対応

### 多様な進路の実現

大学進学 専門学校 就職

## 8 充実したサポート体制

- 従来の「学級」は置かず、チューター制を導入



- 地域人材やNPO等とも協力してさまざまな側面からサポート体制を構築
- ICTを活用した生徒との連絡体制を構築

学校説明会チラシより

個に応じた多様で柔軟な学びの中で

生徒自らが学校生活をデザインし、

夢や希望を実現できる、

今までにない新しいタイプの学校

が誕生します！

## 宮城県教育委員会が構想するあたらなタイプの学校『idealスクール』について ③

### idealスクール（アイデアルスクール）とは

inclusive	共に学ぶ
diversity	互いを認め合う
empowerment	力を引き出す
achievement	目標を達成する
learning	身に付ける

①理想、理想的という意味の英単語

②各英単語の頭文字を合わせた造語

③目指す教育の実現のために多くのアイデア（idea）、工夫を追求していくという思いが込められている。

### 【1 設置の背景と基本理念】

○生徒の興味関心や進路希望が多様化

○様々な背景を抱えた生徒の増加（学校生活や学習に困難を抱える生徒など）

○新たな学校の基本理念

個に応じた多様な学びと学習者中心の支援により、  
生徒の自律的な学びの実現と、将来の社会的自立に必要な資質・能力の育成を目指す。

## 【2 再編の概要】

### 宮城広瀬高校

- 全日制課程・学年制
- 入学定員：1学年240名（6学級）



### 新たなタイプの学校 R9.4月開設予定 (アイデアルスクール)

- 全日制課程・単位制
- 入学定員：1学年200名（5学級）

既存校舎の  
長寿命化改修  
工事を実施

## 【3 基本構想 ～ 本校で学んでほしい生徒】

「個の状況に合わせてフレキシブルに学ぶことにより、自己実現や進路実現を目指す生徒」

### 【具体的には】

- 大学進学等の進路実現を実現するために、自分のペースで学びたい生徒
- 多様な選択肢の中から、興味関心や適性に合わせ自己決定しながら、柔軟に学びたい生徒
- 音楽活動やスポーツ等のために、自由な時間を持ちながら学びたい生徒
- 集団生活や対人関係に不安を感じているが、自分の適性に合わせて学びたい
- 学習のつまずきの解消のため、基礎基本に戻って学びたい
- 学校に登校していない期間があったが、自分の状況に合わせて学びたい

## 4 学校の位置付け

定時制と通信制の機能を  
併せ持つ、これまでにない  
「全日制高校」

宮城県美田園高等学校と連携  
公立の通信制課程は一校のみ

「定時制」の機能

多部制定時制に見られる幅広い時間帯  
における多様な学び方

「通信制」の機能

通信制高校との効率的な併修が可能\*

\* 自校で開設しない科目のみ

単位制

学年区分を問わ  
ず、生徒が自由に  
科目を履修

卒業に必要な  
単位数(74単位)  
を修得

卒業

## 5 学校の特徴

### I フレキシブルな学び方

- (1) 単位制の導入
- (2) 幅広い授業時間帯の設定
- (3) 通信制高校との併修\*
- (4) 資格取得、ボランティア等を単位として認定

### II 魅力ある学び

- (1) 探究的な学び
- (2) ICTを活用した学び
- (3) 地域等と連携した学び
- (4) 多様な人材を活用した学び

## idealスクール

### III 多様な教科・科目

- (1) 多様な進路希望に応じた教科・科目
- (2) 学び直しのための教科・科目
- (3) 習熟度別授業の導入

### IV サポート体制の充実

- (1) チューター制の導入
- (2) 多様なスタッフ（スクールカウンセラー・ソーシャルワーカー、地域人材・NPO等）による支援

\* 自校で開設しない科目のみ

大学と連携して授業開発

## 6 幅広い授業時間帯

- 1～8校時の幅広い授業時間帯を設定し、生徒自身の生活スタイル、興味・関心等に応じて、主体的な授業選択が可能

1校時	2校時	3校時	4校時	昼休み	5校時	6校時	7校時	8校時
主に選択教科・科目		コアタイム(主に必修教科・科目を設置) LHR及び総合的な探究の時間等も含む					主に選択教科・科目	

	1	2	3	4	5	6	7	8
	多様な 教科・科目		必修科目				多様な 教科・科目	
月		選	必	必	必	必		
火	選	選	必	必	必	必		
水			必	必	必	必	選	
木			必	必	必		選	
金		選	必	必	必	必		
	コアタイム							

## 7 多様な教科・科目

- 多様な科目の設置に加え、資格取得やボランティア、他の高校での科目履修などの学校外学修等を幅広く単位として認定
- 将来の社会的自立に必要な資質・能力の育成に繋がる学びや多様な人材を活用した学びなど、魅力ある学びを実施

### 設置する科目の視点

- 国公立大学受験に対応した学び
- 教養を深める学び
- 多様な興味・関心に応じた学び

学び直しにも対応



### 多様な進路の実現

大学  
進学

専門  
学校

就職

## 8 充実したサポート体制

○従来の「学級」は置かず、チューター制を導入



・生徒の進路希望に応じた、  
教科・科目の選択や時間割  
の作成などのサポート  
・学校生活や友人、家庭に関  
する悩みへの相談対応



フリークラス  
チューター制  
◆主任以外の教諭は全員が  
チューター（担任）を担当する

**生徒の希望する進路の実現や目標の達成**

○地域人材やNPO等とも協力してさまざまな側面からサポート体制を構築  
○ICTを活用した生徒との連絡体制を構築

## 視察のまとめ

### 1 学び ・ ・ ⇒地域に選んでもらえる学校にするために「学び」で特色を出す

- ・ 大学と連携した学校設定教科・科目の開発  
(学び直し/STEAM教育/アントレプレナーシップ教育/キャリア教育など)

### 2 支援等

- ・ フリークラス (無学年制)
- ・ チューター制 (主任以外の教員全員がチューターとなり生徒17~18名を担当する想定)
- ・ 生徒支援体制の整備・外部連携
- ・ 不登校対応等の重層的支援体制

### 3 職員の勤務 (昼休憩45分)

A勤務 8:20~16:50

B勤務 9:20~17:50

## 宮城県教育委員会が構想するあたらなタイプの学校『idealスクール』について

### ○なぜ、多部制単位制高校ではなく新たなタイプの高校を設置することとなったのか。

- ・ 県立高等学校将来構想審議会「多様な学びの在り方検討部会」の答申を受けて検討し、設置することとなった。

#### 【検討の視点】

- ① 宮城県内にある多部制単位制高校【3校】の志願者数が少ない。  
→ 教育的ニーズが他にあるのではないか。
- ② 全日制でも、柔軟で多様な学びの仕組みが可能であることがわかった。  
→ 1日8時間の設定（文部科学省に確認済）、単位制の導入、他課程併修制度の活用  
ICTの進展を意識した学習や授業の実施など
- ③ 既存校の活用を想定した場合、新たなタイプの学校への転換により、既存校の特色や活力をより高めることに繋がること。

# 長野東スーパーフレックス新校の設置課程について(案)

## ○目指す学校像

- ・一人ひとりにあった学習スタイルと共に高め合う活動を通じ、学びに向かう力を育む学校
- ・柔軟に学べる仕組みを活かし、自己理解を深め、学校内外でやりたいことを探し、追求できる学校
- ・地域資源を活かした産学官連携のもと、社会とのつながりを深め、自らの選択で行動できる力を伸ばす学校

## ○育成したい生徒像

- ・夢や目標に向かって主体的、意欲的に学び、挑戦していく生徒
- ・多様な生き方を尊重し、豊かな人間関係を構築していく生徒
- ・社会の一員としての責任を果たし、自分らしい未来を考え、行動していく生徒

	A案			B案			C案			D案			
設置課程	全日	定時	通信	全日	定時	通信	全日	定時	通信	全日	定時	通信	
		午前											2時限
							コアタイム						4時限
		午後								コアタイム			6時限
					午後・夜間			昼・夜間					8時限
		夜間									夜間		10時限
													12時限
	【三次】案：長野東SFH 山口県立松風館高校 福岡県立博多青松高校			神奈川県立厚木清南高校 鹿児島県立開陽高校			宮城県宮城広瀬高校 (R9開校予定) +昼・夜間定時			宮城県宮城広瀬高校 (R9開校予定) +夜間定時			

## 一人ひとりにあった学習スタイルと共に高め合う活動

- 単位制の利点を活かす
- 必修修教科・科目を含む74単位修得で卒業(3年以上の在籍は必要)

- 自分の生活スタイルに合わせて各自の時間割を決定(登下校時間を決められる)
- \*チューター(担任)と相談しながら

## 柔軟に学べるの仕組み

- 在籍している課程(部)以外の授業を受け、卒業単位とすることができる。

- 年度末に転籍が可能